

ムスリム女性みなさまの ご経験お聞かせくれませんか？

調査テーマ

「日本のムスリム女性の信仰・社会参加・アイデンティティ」

目的・聞くこと

ライフストーリーを通じて日本のムスリム女性の経験を理解すること

- イスラームへの信仰に影響を与えた個人的背景や理由
 - 日本のムスリムとしてのアイデンティティ
 - ムスリムになって良かったこと、困ったこと
 - イスラームの知識の学習方法
- などなど

調査者

名前: 安達智史

所属: 近畿大学 (専任講師)

調査支援団体: 日本学術振興会 (文科省管轄)

対象 日本人および日本にルーツをもつムスリム女性*

* 日本生まれの外国籍の方でもOK!

内容 個人 (1対1) インタビュー

(要望により少人数でもおこなう場合もあり)

場所 参加者の方が望む場所で! (神戸、大阪など関西圏で応相談)

日時 参加者の方が望む時間で! (応相談、一回につき90-120分)

謝礼 一時間 1250円**

** 調査協力団体のオフィスなどを会場とする場合、旅費も支払います。

問い合わせ info@jhalal.com または [06-6704-7080](tel:06-6704-7080)

より詳しくは裏面をご参照ください。

お問い合わせ・参加申し込み

- 調査に関する情報や参加申し込みは、電話 **06-6704-7080**あるいはメール **info@jhalal.com**にて受け付けています。（ムスリマスタッフが対応します）
- 調査に関してご質問やご心配事などがあれば、いつでも連絡ください。
- インタビューに際して、ご要望にできる限りお応えします。

その他注意事項

- 調査では、プライバシーに関わることを聞くことがありますが、答えたくない場合は回答する必要はありません（謝金は支払われず）。
- インタビューで得られた情報は、研究目的にのみ使用され、また発表の際には「仮名」を用いるなど、参加者のプライバシーを守ります。
- インタビュー後、書類にサインおよび住所等を記載してもらうこととなります。これは、（調査者の）不正防止のために大学が管理することを目的としており、調査者が保持したり、活用したりすることはありません。（インタビューに参加したいけれど、サイン等をしたくない場合はご相談ください。）

調査者（安達智史）の紹介

- 若者ムスリム研究者。ロンドン大学客員研究員を経て、2015年4月より近畿大学総合社会学部専任講師。東北大学文学研究科博士課程修了、博士（文学）。著書に、『リベラル・ナショナリズムと多文化主義—イギリスの社会統合とムスリム』（勁草書房、2013年）。主たる受賞歴「第9回日本社会学会奨励賞（論文の部、2010年）」（受賞論文「ポスト多文化主義における社会統合について—戦後イギリスにおける政策の変遷との関わりのなかで」『社会学評論』60(3): 433-448、2009年）。
- これまで、イギリスの若者ムスリムのインタビューをおこないながら、信仰と現代社会との積極的な関係について調査してきました。その中で、信仰を守りつつも、世間からの偏見に負けず、イギリス社会に参加する数多くの女性の姿に感銘を受けました。今度は、日本のムスリム女性の経験や信仰についても知ってみたいと思い、調査を開始しました。日本のムスリム女性の生活の積極的で、多様なあり方について、多くの人に知っていただけるような研究になればと思っています。